

泉谷教授らに出版会賞

弘前大学出版会が、これまでに出版された作品の中から優れた出版物を選考する第10回弘前大学出版会賞に、「リサイクル・バイオ燃料が切り拓く新たなビジョンー使用済み食用油のエ

ネルギー利用ー」が選ばれた。1日、同大附属図書館で表彰式が行われ、著者の同大農学生命科学部の泉谷眞実教授らに表彰楯が贈られた。

(成田真由美)

大 弘 使用済み食用油のエネルギー 最前線を平易に解説



同書は、身近にある「使用済み食用油」が人と環境に優しいエネルギーに生まれ変わる、リサイクル・バイオ燃料事業の最前線を分かりやすく紹介した入門書。使用済み食用油を燃料に変える最新技術の解説や、環境先進国ドイツでの先行例と現状の分析からリサイクル・バイオ燃料が有する可能性を提案している。

1日の表彰式には、共同著者の泉谷教授、三重大学生物資源学部受賞を喜ぶ著者の(左から)金井上級研究員、泉谷教授、野中准教授、小野教授

の野中章久准教授、農業・食品産業技術総合研究機構の金井源太上級研究員、日本大学生物資源化学部の小野洋教授が出席。同出版会の足達薫編集長が表彰楯を贈った。

泉谷教授は「これまでで行ってきた研究を分かりやすく伝えることが一番の目的だった。

出版会の多大なアドバイスや多くの方に感謝したい」と喜びを語った。

※この記事は陸奥新報社の提供です。

[問合せ先]弘前大学出版会

hupress@hirosaki-u.ac.jp

この画像は、当該ページに限って陸奥新報の記事利用を許諾したものです。

転載ならびにこのページへのリンクは固くお断りします。